

居場所づくり

九州南部では7月13日、長い梅雨が明けたとみられると発表されました。その後は、本格的な夏の日差しと高い気温の日々が続いています。

梅雨明け後に実施した「一善の会」は早朝からの活動にもかかわらず、気温はすでに30度近くまで上がっていました。水分補給の時間を取り、休憩を挟み、参加者の様子を確かめながら進めました。予定どおり終えることよりも、体調を崩さず安全に終えることを優先する。暑さの厳しい時期には、無理をしない判断が欠かせません。

この夏、全日本遊技事業協同組合連合会では、協力するパチンコホールを「酷暑避難場所（涼み処）」として提

供する取組を進めています。私たちの店舗でも、外出中に体調の異変を感じた方や、強い日差しを避けたい方に、空調のきいた店内でひと休みしていただけるよう対応しています。暑さを我慢せず、身近な休憩場所としてお立ち寄りください。

夏の危険は、屋外だけにあるわけではありません。炎天下の車内は短時間で高温になります。人や動物を残さないことはもちろん、飲料の入ったペットボトル、スマートフォンやモバイルバッテリー、ライター、スプレー缶なども、温度や置き方によって思わぬ事故につながるおそれがあります。車を降りる前に、座席や足元を一度見回

す習慣をつけておきたいものです。

こうした暑さへの備えが続く中、7月28日には、熊本県熊本地方を震源とする「令和8年熊本地震」が発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を願い、私たちも店舗で募金活動を実施しています。

水分を取る。早めに休む。身の回りを確かめる。そして、被災地への支援に加わる。状況は違っても、今できることを着実に行うことが、身を守り、誰かを支えることにつながります。私たちの店舗も、人が立ち止まり、助けを求められる場所でありたいと願っています。



(株)西の丸
代表取締役社長

西谷 淳